

新川会通信

第36号

すまいる

発行

社会福祉法人新川会

〒930-0362

上市町稗田字七郎谷 1-32

Tel (076) 472-1118

Fax (076) 472-5391

E-mail yotsubaen@nikawakai.jp

HP http://www.nikawakai.jp/

発行責任者 倉田 淳



親子日帰り研修 井波彫刻総合会館前にて

法内化10年を迎えて

さつき苑保護者会長 青木 直美

このたびは、さつき苑十周年おめでとうございました。

早いもので、我が家もさつき苑とご縁を持ち十年が過ぎました。高等部を卒業し、新しい環境に馴染めるだろうかと不安を持ちながらスタートした新生生活でしたが、さつき苑の歴史とともに娘は成長し、お陰様で安堵の今日を迎えていたことに感謝申し上げます。

私たちが仕事をどのように受け止めて、どのように自分自身を活かし、さらに次の世代に活かしていくか、これはとても大切なことだと思います。娘は仕事の意味づけや価値など、きっと考えたこともないでしよう。ただ、毎日楽しみにさつき苑へ出掛け行って行くのです。どんな人にも居場所や役割は必要です。さつき苑は、娘が唯一社会とのつながりを持ち、自分らしく活躍できる大切な居場所になつていています。

わが国では、人口減少や家族・地域社会の変容により、複合的な生活課題を抱える世帯が増え、既存の制度や担当の専門分野だけでは対応が難しいケースが浮き彫りとなつてきました。障害者もやがて高齢者になります。五年後、十年後、また親亡き後のわが子の暮らしを思うと不安も増します。世帯全体の複合化・複雑化した課題を受け止める総合的な「相談支援体制」と「地域力」の強化が求められている中、これからもさつき苑が私たちの心のよりどころであり、何事も分かち合えるよき理解者であり、ひとりひとりが輝ける居場所であり続けることを願っています。



さつき苑は、三十五名の方が通苑されており、生活介護は十九名、就労継続支援B型は十六名の方を利用されています。

生活介護は療育班と工芸班で分かれて活動を行っています。療育班では、木の輪通しや、洗濯バサミ留め、ヒモ通し等の作業、グラウンドでの歩行運動など、機能訓練を中心に行っています。また、創作的活動として、貼り絵を行っており、今年は、「ドクターへりと立山連峰」の貼り絵を大作を仕上げ、さつき苑祭で掲示しました。

さつき苑は、三十五名の方が通苑されており、生活介護は十九名、就労継続支援B型は十六名の方を利用されています。



木工製品は、ス

トラップをはじめ、鍋敷き等とも人気があり、即売でも売り切れることもあります。木工製品は、「切る」「磨く」だけでなく、ス



トラップのヒートンつけも利用者が行っています。また、即売などを通し、たくさんの方に商品を知つてもらうことができ、おかげさまで今年は上市町婦人会や、上市町社会福祉協議会などから、たくさんの木工製品の注文を頂きました。

就労継続

支援B型で

は、リテー

ナ（ベアリ

ング）積

み、チュー

ブ取り付け

等の受託作

業中心に入

組んでいます。

入浴芳香品では、よもぎの採集から洗浄、袋詰めを行っています。浴芳香品などの自主製品にも取り組んでいます。

また、畑では、サツマイモも栽培しており、毎年、異なった品種で美味しくいただきました。納芋と紫芋を植え、収穫したサツマイモは、焼き芋にして、みんなで美味しくいただきました。



取り、こちらも入浴芳香品として製品作りをしています。即売では、畑で栽培したトウモロコシを使ってポップコーンを販売しています。

また、畑では、サツマイモも栽培しております。

即売では、畑で栽培したトウモロコシを使ってポップコーンを販売しています。

四ツ葉園だより

四ツ葉園祭



今年度も四ツ葉園祭が十月二十二日に盛大に行われました。一週間前から天候が荒れ模様だと心配していましたがそこは利用者の方々の日頃の行いが良いこともあり晴天の下で開催できました。

午前のステージではトーンチャイムクラブによる演奏、工房よつばとのぞみの会合同によるカッパス、そして昨年に引き続き太鼓クラブによる演奏がありました。今年度、太鼓クラブは新たにクラブ活動として立ち上げ演奏の練習だけでなく廃タ

園祭が十月二十二日に盛大に行われました。一週間前から天候が荒れ模様だと心配していましたがそこは利用者の方々の日頃の行いが良いこともあり晴天の下で開催できました。

午前のステージではトーン

チャイムクラブによる演奏、工房よつばとのぞみの会合同によるカッパス、そして昨年に引き続き太鼓クラブによる演奏がありま



午後のステージでは「スマイルバルーン」さんによるバルーンショーと「ひまわり一座」による艶やかな演目が次々と披露され、圧倒されたと同時に素敵な時間を一緒に過ごすことができました。

今年度もたくさんの来場者とともに地域の方や皆様のご協力もあり楽しい企画となり感謝しています。

四ツ葉園では防災・防犯の安全管理を避難訓練や勉強会、講習を含め行なっています。勉強会では火災についての映像を見て学びました。職員は防犯対策として講習を受け、さすまたの使用方法や不審人物に対する心構えを学んでいます。今後も利用者皆さんのが安心・安全に過ごしていくよう努めます。

防災・防犯

雷鳥苑だより

雷鳥苑祭

(土) 第十一回
雷鳥苑祭が開催されました。今年は、雷鳥苑の日頃の様子を絵日記として紹介しました。

各グループの活動紹介や農業活動紹介、工芸班作品紹介など絵や写真を使つて分かりやすく紹介しました。一押し商品の髪留め



立山町料理飲食業組合交流会

十一月二十四日(木)に立山

町料理飲食業組合交流会がありました。組合の皆さんにカレーの仕込みを始められると、いい匂いが苑内に漂い、利用者の皆さんは作業をしながら、わくわくした様子でした。サラダと本格的なカレーに「おいしい」という声が「家のとは違つていいね」などという声が聞かれ、和やかなひと時を過ごしました。組合の皆さん来年も待っています♪



と思います。

午後からは風の会のオカリナ演奏に耳を傾け、手遊びで元気に体を動かして楽しみました。

工房よつばだより

社会生活体験

十二月七日に、外出しました。ア

ピタ富山東店でボウリングをしました。ストライクやスコアが出ると、みんなで喜び、ガーテーが出てると、悔しそうな様子でした。初めてボウリングをしたという方もおられ、玉を

転がすのに苦戦しながらも倒れるピンを見て楽しそうでした。昼食は、カナルパークホテルで、和食と洋食に分かれました。ナイフとフォークは、使い慣れていないためか、ステーキがなかなか切れないということもあります。午後は、タオルセットの納品先である入浴施設へお風呂に入りに行きました。工房よつばからは遠く離れた場所にお風呂があることにおどろいた様

呂にもゆっくりとつかり、温まった後は、ガスト大沢野店へ行き、おやつを食べました。メニュー自分で選び、ドリンクバーも注文しました。





さつき苑だより

さつき苑祭

十月八日(土)に「第8回さつき苑祭」を開催しました。当日はあいにくの雨となりましたが、たくさんの方にご来場いただきました。

午前のステージ発表で、トーンチャイム「手のひらを太陽に」と、全員での合唱「365日の紙飛行機」を披露しました。この日の為に、毎日、練習を行い、緊張した表情も見られました。また、発表後には満足した様子が見られました。作品即売では、利用者の方々の活動の中で制作している、木工製品や入浴芳香品など、多くの方にご購入いただきました。その他のにも、苑内には、利用者の方の活動の様子や、絵画教室で描いた絵などを展示し、来場された方々に、さつき苑の活動を知つていただきました。

午前は、万国旗や風船が出てきたり、マジシャンの手が三本になつたりと、間近で見ておられました。また、ビンゴ大会では、早くビンゴにならないかと、何度も自分のカードを確認し、bingoになりました。おおきなお菓子をもらひ、喜ぶ姿が見られました。

つつじ苑だより

つつじ苑祭

十一月三日(木)、第八回つつじ苑祭が行われました。

今年は、利用者の皆さんによる劇、歌の発表がありました。劇では、花見や遠足、交通安全教室、夕涼み会等、色々な行事を行いました。歌では、利用者の皆さんのが大



優雅なフラダンス&マジック



好きな歌「世界にひとつだけの花」を歌いました。

発表の後は、辰新マジック&フラダンスのみなさんによる出し物があり、素敵なマジックやフラダンスを楽しみました。

模擬店では、今年は利用者の皆さんのリクエストによりお寿司が販売されました。また、苑で栽培したサツマイモを焼き芋にして振る舞い、皆さん、大満足のようでした。最後は、皆さんお待ちかねのビンゴ大会で大いに盛り上りました。協力して下さったボランティアの方、保護者の皆さんありがとうございました。

地域相談室だより

星の子サークルクリスマス会

星の子サークルでは十二月は毎年クリスマス会を行つており、親子でリース作りをしました。

まつぼっくりやどんぐりなどの自然の素材を生かしてリースやオーナメントを作りました。子供達はボンドの扱いやグルーガンの操作に苦戦しながらとても集中して取り組んでいました。子供以上に保護者の方が真剣だったので、その保護者達の姿に影響され子供達も真剣だったのかもしれません。椅子に座つて三十分ほど取り組んでいる姿は子供達の成長を感じさせるものでした。親子で協力して作つたクリスマスリースは親子の絆を感じることができ、とても素敵なものになりました。

その後、みんなでクリスマスソングを歌つているとサンタクロースが登場しました。今回はサークルの高校生がサンタクロースに扮したり司会等をしたり会の進行を色々と手伝つてくれました。高校

生の中には卒業して四月から社会人になる児童がいます。小さなころから知つてゐる児童が成長し大人になっていく過程に関われたことは私達も嬉しいです。卒業してもサーカルは引き続き参加されるので、来年も一緒に頑張りましょう。



研修報告

感染症防止対策の研修を通して

四ツ葉園主任 松岩 雄大

六月、看護職員等実務研修で感染症防止対策の基本について勉強させていただきました。感染症として身近に思い浮かぶのがインフルエンザやノロウイルス等で、命を脅かすほどの感染力です。四ツ葉園でも昨年、インフルエンザが蔓延したことは記憶に新しいです。

今回、一番大切だと感じたことは「感染後の対策」ではなく、「感染させない為の対策」であると感じました。基本的なことではありますが内部に持ち込まないことに難しさを実感しました。特に80名近くの集団生活の中で一人が感染症に感染するとあつという間に集団感染を招くことになります。

それを防ぐために、まずは感染症について基本的な知識と適切な予防策を知つておかなければなりません。

現在ではドラッグストアなどでもできる手身指衛生（手洗い）です。今回、研修を受けて手指衛生が簡単そうで奥が深いものだと実感させられました。何気なく行なつてゐる手洗いですが、「時間」「方法」「適切な手順」「乾燥」を徹底するこが非常に大切です。四ツ葉園でも定例会等を通して手洗いの方法や清潔に保つことの大切さを利用者の皆さんに勉強していました。だいていますが、最低でも365日×3回（食事前）に行います。日々の生活の中で身に付くことができるようになれば良いと思つています。

その他にも、感染症が発症した場合に適切な対応の徹底や、居住スペースを清潔に保つことも非常に大切です。グループワークでは高齢者施設、医療機関の方々と意見を交わし、集団生活での感染症予防について共通の悩みや意見を交換しました。四ツ葉園として今後、環境面での整備もしていく必要があると感じました。まずは利用者の方々が「健康」であることが生き生きと生活していく中で大切です。まずは出来ることから徹底して行い感染症ゼロを目指して今後も取り組んでいきたいと思います。